

<第2回「内航船の日」を話します。／海から届ける写真展@大黒湯を終えて>

今年の「内航船の日」は2回目ということもあり、思いがけない広がりや応援をいただくことができました。陸の一般の方からの提案で始まった記念日「内航船の日」は、海上の船員からの歩み寄りとも呼応しながら、より社会性のある応援へと進化してきています。

個性的な船員の姿や、人間味のある物流をイメージしてもらうことは、最終的には島国の暮らしを知ることに繋っているように感じます。人と人との連携でなりたつ社会の仕組みを、共通の「海」を通して繋げてもらえる奇跡を、記念日「内航船の日」では何度も目の当たりにすることができます。

海運関係者が憧れている海洋文化を持つ社会は、島国の社会の場合には、生活者がほんの少し自身の生活基盤について意識するだけで、日本中のどこにでも実現させられることを知らされます。そのひとつひとつは、まだ小さな芽にすぎませんが、海からと陸からの応援の中で大きく育ってほしいと願っています。

一人ひとりの「ふと海を想う。島国の暮らしと内航船をイメージする日」に感謝申し上げます。

それでは、記念イベント「海から届ける写真展」を通して、2017年の「内航船の



日」を振り返ってみます。

写真展の初日には、J-CREW プロジェクト（全日本海員組合と国際船員労務協会などで日本人船員を増やすことを目的に取り組まれている）のイメージキャラクター「海月七海」の初代を務めた、女優の兼田いぶきさんが仕事の合間に駆けつけてくれました。「海月七海」の当時は、外航船員を増やす PR 活動に励んでくれた彼女ですが、内航船員だって応援していますと声をかけていただきました。

(https://twitter.com/junni_800/

[status/886186128251932673](https://twitter.com/junni_800/status/886186128251932673))

兼田いぶきさんのアカウントからも、twitter で「内航船の日」と「写真展」の PR をされていました。「# 内航船の日 行ってきました！大黒湯で行われている写真展。船員さんたちの愛情たっぷりでした。そしていい湯だ。頑張ってください。」



(https://twitter.com/k_ibuki819/status/886097741058785280)

会場に設置した「船員にひと声ノート！」には、「どんどんイベントなどをやって、内航船の知名度が上がることを期待しています！がんばって下さい 兼田いぶき」と書き込みを残してくれています。

写真展の告知案内の記事は、業界紙（内航海運新聞）のほか、内航ジャーナルの月刊「内航海運」や船員災害防止協会の冊子などでも掲載されました。

会場への取材も、共同通信社や内航海運新聞の記者が足を運んでくださり、さらに今年はペット系の雑誌からの取材までありました。今回の写真展には、内航船で暮らすネコ、「カンパチ船長」の参加協力があったためです。

船とは関わりのない雑誌の記者から、内航海運や船員のことに興味を持ってもらえる事は、特別に意味のあることだと考えています。カンパチ船長が提供してくれた写真を使って制作したポスターを目当てに来場してくれた方もたくさんいました。



内航船に暮らすカンパチ船長が掲載された雑誌（一部）

— twitterトレンド欄に「内航船の日」が登場！

「内航船の日」は、ネットで始まった記念日ですので、もちろんネットでも盛り上がっています。

内航船の日を向かえた15日、深夜0時から、twitter内にはハッシュタグ「#内航船の日」をつけた投稿が大量にあふれだし、午前中には一時的にtwitterのトレンド欄に表示される程にまでなりました（14位）。

— 「内航船の日 おめでとう」が生まれた

ツイートの内容は、ふだん撮りためていた内航船の写真やイラストなどの他に、今年からは「内航船の日 おめでとう」という言葉が誕生しました。自然にわき起こったよう

に感じます。「内航船の日」は2回目にして突然、「贈りあえる」言葉に成長していたのです。ありがとうございます！

記念日の盛り上がりの中、どのように「内航船の日」を盛り上げているのかを一目見るために会場へ来てくれた方もいました。実は、写真展の準備中にその過程をツイートしてきたこともあって、ハウツー的な発信にもなっていたようなのです。PRの参考にしたいと考え来場してくれた海洋調査船の関係者の話では、調査船でも



人材の確保には苦勞しているとのことでした。「どんな分野でも、現場からしか届けられない価値にこそ、PRのチカラがあるのではないか」と話しました。

来場された一般の方からいただいたお話も、
会場の銭湯から即発信しました。

2日目、22時33分に発信したツイート

「今日、夫婦で来た若い奥さんはポテトチップスの芋まで輸送している内航船があんまり知られていない事に憤り、袋のバーコードの形を船型にする案に行き着いた。 熱い目、真剣な言



葉。船員の中には泣いちゃう人だっているんじゃないかと思う程うれしい。 素敵なアイデアだ。 #海から届ける写真展」

(https://twitter.com/junni_800/status/886577068363792384)

このツイートは大きな反響を呼びました。7月28日の時点で、174人のリツイート、450人のいいねを獲得しています。ツイートアクティビティを確認すると、投稿に反応した人（エンゲージメント）は12,781人にのぼります。

多くの海運関係者にとって、こういった海運の社会的認知度向上のための提案は、海運関係者自身から生まれるものだと思い込んでいたはずですが、しかし、市民社会からの応援のもとで取組んでこそ、意味がでてくるアイデアなのだと感じました。

このツイートに、船員からの返信がありました。

「陸にいる方が船について「今まであまり知らなかった」と親身になって真剣に考えてくれる、、、なんて嬉しい事なんだろう。」

「船員たちにひと声！ノート」にも多くの方が書きこんでいます。

目についたコメントも、その場で撮影して twitter で発信しています。

< 7/19 22時45分に発信したノートの記事 >

「素敵な写真ありがとうございます！！いつもコンテナ船の運航ありがとうございます。皆様のおかげでスムーズに仕事できております。感謝です！！」(商社勤務27才)

「内航船の日のおかげで、これまで外側からしか知らなかった船内の風景や船員さんたちのお仕事、なによりその心を知ることができました。いつも私達の生活を支えてくれる大切な内航船、その輪がもっと広がってゆきますよーに！！ オフロ気持ち良かったです！」(メーカー貿易実務 イリコだしさん)

< その記事を写真付きで紹介した時のツイート >

「大黒湯なう。#海から届ける写真展に置いてある『船員たちにひと声！ノート』。商社の方、メーカー貿易実務の方、こうした陸の人たちとの繋がりも直筆から伝わってくる。最高の記念日です。ありがとう。みんなの#内航船の日。」

(https://twitter.com/junni_800/status/887669696933240837)

ネットを覗くと、今年の「内航船の日」は、まるで内航船の航路のように全国津々浦々で盛り上がっていました。内航船の日に「婚姻届」を提出したカップルからの写真付きのツイートまであります。造船会社で船舶の修繕作業をされている方です。「婚姻届提出しました。今後ともよろしくです。意識したわけではないのですが、内航船の日！これからも内航船とともに歩んでいきます。(修繕していきます) 錨のマーク」

(<https://twitter.com/izuyama51/status/886199490461356032>)

関連する業種との繋がりが豊かになっていくだけではなく、記念日は市民社会の生活にいくらかでも馴染んでいくことができるようです。(お幸せに)

FM 大分でラジオ DJ をされている DJ NAVE さんは、「内航船の日」を話題にして2曲の選曲をしてくれました。



DJ NAVE

@DJ_NAVE フォローされています

ナベと申します。地元大分でラジオDJやラジオ番組の制作などやらせて貰ってます。関アジ・関サバの佐賀県出身。ラジオ、ハンドボール、海釣り、艦船艇、ガンダム、MLB(TB)、高校野球、モータースポーツ、声優・ナレーターに反応します。釣りでは主にメタルジグとエギを好んで投げます。ふるさと大分が好き。一応3児の父です。

「明日の僕の選曲枠は2曲。2曲とも #内航船の日絡みにしました(^)。タイトな番組なのでどこまで触れられるかわかりませんが、自分が「伝えたい」と感じた事は伝えられればと思います。今朝は先日乙津でみかけた鋼材船「あまくさ」を再び見かけました。再会は嬉しいです。綺麗な船でした！」

(https://twitter.com/DJ_NAVE/status/885500490653483008)

「船員たちにひと声！ノート」には、現役の乗船実習生（望星丸）や、春から海上技術短期大学校に進学する学生、大学の海洋建築工学科（日大理工学部）で学んでいる方なども、思い思いに記帳してくれました。

(https://twitter.com/junni_800/status/890948937523183616)

(https://twitter.com/junni_800/status/890949124589105152)

各々で展開する「内航船の日」の広がり。

海運産業の世界が、陸の人たちの生活や仕事、暮らしに繋がっていく。

「内航船の日」は、実に社会的な成長を生み出しています。

まだまだ追いきれていない小さな「内航船の日」がたくさんあるはずです。



記念日 15 日 0 時、職場の船室から記念日を祝った船員も。

「イエーイ！？内航船から #内航船の日 にカンパニー！！ (リアルゴールド)」

(<https://twitter.com/shuttle708/status/885877713143119874>)

海と陸とが一つになる日。「内航船の日」、今年もありがとうございました！
さて、来年も楽しみにしましょう。

「内航船の日」は、全国でどなたからでも始めることができます。
来年も一人ひとりの「内航船の日」を！

(全日本内航船員の会 事務局 2017.08.06)

7月15日の「内航船の日」に関するツイートを together というサイトで記録してくれた方がおられましたので、リンクをご紹介します。

① 第1部は 00:00~11:59 につぶやかれた編

<https://together.com/li/1130206>

② 第2部は 12:00~17:59 につぶやかれた編

<https://together.com/li/1130244>

③ 最後は 18:00~24:00 につぶやかれた編

<https://together.com/li/1130269>

各ツイートには発信日時も記されています。「内航船の日」7月15日に、一日中ひっきりなしに船員や陸の方が記念日に参加されていたことがわかります。

(*拾いきれていないツイートもあります)